

Vol. 157

紀元 2681 年

令和 3 年

初夏号

宮崎神宮社務所

# 宮崎神宮

# 養正

ようせい

# 正



## 「養正」とは

神武天皇が第一代の天皇に即位される際のご聖勅「上ハ  
すなは あまつかみ さず みうつしび すなは すめみま たしきみち  
則チ乾靈ノ國ヲ授ケタマヒシ徳ニ答ヘ、下ハ則チ皇孫ノ正ヲ  
やしな みこころ  
養ヒタマヒシ心ヲ弘メム」からいただいた由緒ある名称です。

皆さまには、未だ終息をみせないコロナ禍のなか、何かとご不便な生活を続けてをられることと、衷心よりお見舞ひを申し上げます。

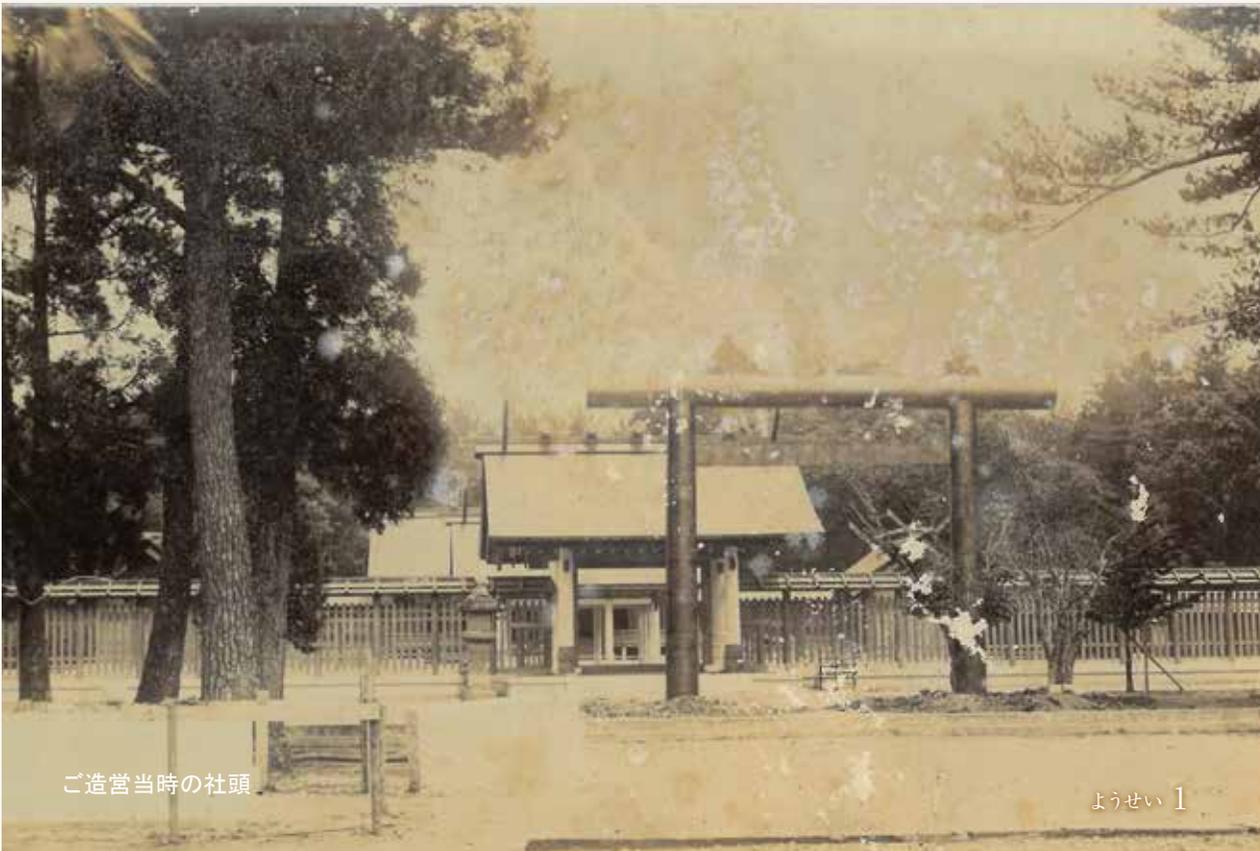
先日私は、宮崎県立佐土原高等学校生徒に日向神話と宮崎神宮についてお話をする機会を得ました。神話に登場する神々がいかに人間的で、そして現在の我々の生活にも身近な存在であるかを理解していただくやう話を進めました。

また、授業で郷土の偉人高木兼寛先生にもふれましたが、それを聞いた先生と同郷で高岡町出身の生徒から、「先生が脚氣の原因を発見したお医者さんとは知っていたが、宮崎神宮を造った人とは知らなかった」との感想がよせられました。

これが今の宮崎県民の平均的な意識であらうと存じますので、今回改めて高木兼寛翁のご偉業を振り返ってみます。

先生は、今の宮崎市高岡町穆佐にお生まれになり、鹿児島で医学を学び、海軍省に仕官。のち英国セント・トーマス病院医学校に留学、抜群の成績で卒業してゐます。帰朝して、のちには大日本帝国海軍軍医総監に任じられます。因みに、当時の陸軍の軍医総監は森林太郎（作家名森鷗外）です。また翁は、我が国第一号の医学博士。明治天皇の侍医も務め、男爵の爵位を授けられました。最も知られてゐるのは、東京慈恵会医科大学の創立者であることせう。

当時の陸海軍では多くの兵士が脚氣に悩まされてゐました。その原因についてドイツ医学の東大医学部卒を中心とした陸軍軍医は、「脚氣病菌説」、伝染病だと主張していました。一方、イギリス医学に学んだ高木兼寛は、脚氣は軍隊の米飯中心の食事にあるとして、麦飯も取り入れ、壮大な航海実験の結果、病



ご造営当時の社頭

因は栄養にあることを突き止めました。ビタミンBの欠乏です。

この食事改良で海軍からは脚気がなくなり、米飯をやめない陸軍は、のちの日露戦争までこの病気で苦しむこととなります。

さて高木翁は、郷土宮崎を、特に第一代神武天皇を祀る宮崎宮（のちの宮崎神宮）を、官幣大社としてもつと威厳のある立派な建物にしなればといふ願望があり、「神武天皇御降誕大祭会」を設立し、自ら幹事長の要職に就きます。明治天皇から強い信頼を得てゐた高木翁は、皇室からのありがたいご内帑金を受けます。

また、各宮様方をはじめ、政財界からも広く浄財を募ることになります。この会の中心人物のひとつが、今のNHK大河ドラマの主人公、渋沢栄一です。彼の癌の手術を執刀した高木は九歳年下でありましたが、渋沢から先生と呼ばれて尊敬され続

けてゐたといひます。かういふ次第で、渋沢栄一をこの会の監事に任じ、広く財界の募財に当たらせてたものと思はれます。

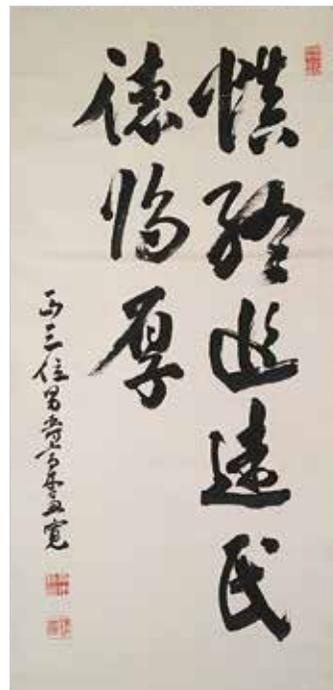
かくして明治四十年、高木兼寛翁のご尽力により今の御殿が完成しました。一一四年を経た今日、郷土の銘木杉材（神社建築の主流は檜材ですが）のご本殿以下神殿は、荘厳で堅固なたずまひを保つてゐます。

ここに改めて、高木翁のご偉業を称へ、ご遺徳をお偲び申し上げます。

参考文献

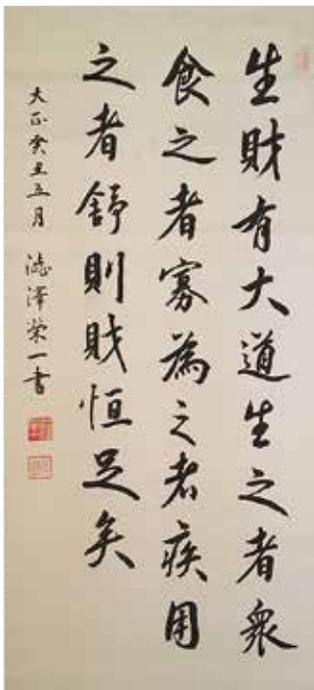
- 吉村昭著『白い航跡』
- 倉迫一朝著『病気を診ずして病人を診よ―麦飯男爵高木兼寛の生涯』

高木兼寛奉納書／宮崎神宮蔵



終はりを慎み 遠きを追へば 民の徳厚きに帰せん 論語

渋沢栄一奉納書 大正癸丑（二年）五月／宮崎神宮蔵



財を生ずるに大道あり

これを生ずる者衆くして これを食らふ者寡なく

これを為す者疾くして これを用ふる者舒やかなれば

則ち財恒に足る

論語

## 宮崎と、あなたを、はるかなる夢の時空へ

県内各地で守り伝えられてきた神楽や神話は、宮崎県ならではの文化です。

このプロジェクトは宮崎の誇るべき文化を照らし、宮崎から日本に、そして世界に向けて発信していこうというものです。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、これまでの生活は一変し、新たな生き方、暮らし方を強いられています。

そのような状況下でも、後世に継承していくべき文化は失われるべきではありません。

宮崎県内に残る神楽と神話の素晴らしさ、更にはそこに息づく文化や食、人々の生活を発信することで、郷土の誇りを後世に語り伝えていく一助となればと思います。

MRT宮崎放送

日時 令和三年四月十七日（土）午後六時開演

会場 宮崎神宮

主催 MRT宮崎放送

出演 サラ・オレイン 船引神楽

村上三弦道 宮崎雅楽会

「ひむか芸術舞台」は、古事記や日本書紀に記されてゐる神々の系譜に沿って、宮崎県内神話ゆかりの地にて開催する神楽や現代音楽等で構成される音楽イベントです。

これまでに、天照大御神の岩戸開き神話の地である高千穂町天岩戸神社、天照大御神の御孫

ココから照ラス！

# MRTひむか芸術舞台

## FINAL



第35回国民文化祭・みやざき2020  
第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会  
令和3年7月3日(土)～10月17日(日)

このロゴマークは、人と人が繋がり手を取り合っ  
て文化が生まれていくというイメージを、水引を  
モチーフにデザインしています。太古から受け継  
がれてきた日本文化の素晴らしさを再認識し、新  
たな文化や価値観が生まれていくことを表現して  
います。

本事業は、大会応援プログラムとして開催されました。

にあたる天孫降臨神話のニギノミコトの陵墓  
があると伝はる西都原古墳群、ニギノミコト  
の御子である海幸彦・山幸彦の神話の舞台であ  
る青島で開催されました。

そして、最終回となる今回は、神武東遷出発  
の地、山幸彦の御孫にあたる神武天皇をお祀り  
する当宮で開催されました。

当初は、令和二年三月二十八日(土)に開催  
を予定されておりましたが、日本国内で新型コロナ  
ウイルスの感染者が相次いで発生したことを  
受け、感染拡大防止のため延期となりました。

拝観者も千数百名の予定でしたが、昨今の情勢  
に鑑み三百名と大幅に減少し開催されました。

当日は youtube でもライブ中継され、宮崎神  
宮はもとより「神話の国宮崎」を内外に広く発  
信しうるものとなりました。



1 / 告知ポスター。2 / 神武東遷に因  
んだ古代船「おきよ丸」も設置された。  
3 / 宮崎雅楽会による演奏「越天楽」  
「陪臚」。4 / 当宮巫女による「豊栄の  
舞」。5 / 村上三弦道、サラ・オレイ  
ンによる演奏。6 / 船引神楽(県指定  
無形民俗文化財)「三笠鬼神」。

# 「国を挙げての開催を」

令和三年三月二十五日に福島県を出発した聖火は、四月二十五日に西白杵郡高千穂町、延岡市、日向市、高鍋町、西都市を経由し、夕刻宮崎市に到着しました。

宮崎市の起点に選ばれた当宮では、同日聖火の出発に先立ち「東京五輪聖火安全祈願祭」を執り行いました。

祭典では宮司祝詞奏上の後、先の昭和三十九年東京オリンピックを奉祝して、女舞を振り付けて新しい形式となった「悠久の舞」を奉奏、東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー宮崎県実行委員会委員戸敷正氏が玉串奉奠、参列者はこれにあはせて拝礼を行ひ、恙なき聖火のリレーをご祈念申し上げました。

引き続き同所に於いてのミニセレブレーションの後、聖火は約千五百名の観客が見守る中参道を通過、トーチキス地点となった二ノ鳥居では当宮獅子舞を披露し、奉祝ムードを昂揚しました。なほ、聖火は同日、宮崎県庁に無事到着しました。

コロナ禍にあつて、未だオリンピック開催を懸念する意見もありますが、適切な感染症対策を施した上で、当初の目的である東日本大震災からの復興を掲げ、皆の応援のもと、国を挙げて開催されますことを希ひます。

## ミニセレブレーション次第

- ▼①宮崎市民吹奏楽団による演奏▼②伊達バレエ団、宮崎市民吹奏楽団によるバレエダンスと演奏▼③実行委員会代表挨拶(宮崎市長 戸敷正)▼④聖火ランナー入場▼⑤聖火入場▼⑥トーチへの点火▼⑦フォトセッション▼聖火出発▼⑦伊達バレエ団によるバレエダンス 午後七時頃終了

日本のひなた 夏編

Hope-Lights Our Way  
希望の道へ、ついでに

# TOKYO 2020

## オリンピック聖火リレー開催

宮崎開催日 4.25sun - 4.26mon

4月25日(日) 高千穂町 ▶ 延岡市 ▶ 日向市 ▶ 高鍋町 ▶ 西都市 ▶ 宮崎市  
宮崎県高千穂町 西白杵郡高千穂町 延岡市 日向市 高鍋町 西都市

4月26日(月) 宮崎市 ▶ 日南市 ▶ 串間市 ▶ 三股町 ▶ 都城市 ▶ 小林市 ▶ えびの市  
宮崎市 日南市 串間市 三股町 都城市 小林市 えびの市

聖火リレー開催に伴い、上記の区間において交通規制を実施します。  
規制路線だけでなく、周辺の道路も大規模な混雑が予想されます。マイカーの自粛等、交通量の抑制にご協力ください。  
バス・タクシー等車両での参加は、原則として行いません。詳細は開催日程の開催日をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策について

開催は十分な感染症対策を実施し、安全・安心な聖火リレー開催を実現していきます。  
●観覧者や関係者の方々の健康と安全を確保し、必要に応じて観覧者数を制限させていただきます。 ●観覧者の方々の健康と安全を確保し、必要に応じて観覧者数を制限させていただきます。  
●観覧者の方々の健康と安全を確保し、必要に応じて観覧者数を制限させていただきます。 ●観覧者の方々の健康と安全を確保し、必要に応じて観覧者数を制限させていただきます。

東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー宮崎県実行委員会 宮崎県主催



当宮への聖火到着は、第18回オリンピック東京大会(昭和39年)に続いてのことでした。※詳細は『養正』143号参照



ごあいさつ

講長 西尾 武彦

講長に就任してより二年目を迎えました。コロナ禍により未だ講員の皆様に親しくご挨拶申し上げることができず、残念な思いでいっぱいでございます。ようやくコロナウイルスワクチン接種もはじまり、「もうすぐ二回目だわ」、「一回目は筋肉痛があった」という話を聞くようになりました。早く肉体的結果により悪しき病が終息に向かい、有難い日常が取り戻されることを願うばかりです。

では実施可能かどうかは解りませんが、ある程度の終息を見込んで計画しています。昨年は御神幸祭と皇居勤労奉仕が中止となりましたが、一年間休んだ分エネルギーが十分溢れていることと思っておりますので、実施の際には奮ってご参加いただければ幸甚に存じます。

このような状況下ですが、神職と共に出来る事を模索しながら、活動を展開していきたいと思っております。ご提案等がありましたらお気軽に声をかけていただくと活動の励みになりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。結びに、時節柄ご自愛專一に願ひ上げご挨拶と致します。



鳥居額を修繕させていただきました。(令和三年四月二十六日)

令和二年度事業報告

年度を通して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた一年となった。▼祭典は神武天皇祭併講社大祭を除いて、参列案内縮小。主に講長、副講長参列。▼御神幸祭(神武さま)中止。但し「神武さま広場御幸の儀」として斎行。▼理事会は五月のみ開催。十月は書面にて報告。理事初寄会は中止。▼第四十七回皇居勤労奉仕団は二度申請するも落選。七月に中止を決定した。▼社報『養正』二回配布。また十二月中旬より四月中旬まで正月破魔矢、神符の授与を行った。

令和三年度事業計画

▼四月三日神武天皇祭併講社大祭は県内講員のみ案内。今後、年間を通して主な祭典(参列)。▼理事会は三回開催予定。総会は昨年引き続き、理事会決議事項を本紙面にて報告。▼第四十七回皇居勤労奉仕団は、十一月に開催予定。団長は西尾武彦講長。▼社報『養正』を二回配布。また、正月に破魔矢、神符の授与を行う。

理事就退任

清 澄隆 令和二年十二月三十一日退任  
宮永雄次 令和三年三月三十一日退任  
井野義美 令和三年五月十三日就任  
児玉静雄 令和三年五月十三日就任

会計

一般会計決算及び予算

| 科目          | 令和2年度<br>決算額 | 令和3年度<br>予算額 | 備考         |
|-------------|--------------|--------------|------------|
| <b>(歳入)</b> |              |              |            |
| 諸収入         | 721,502      | 910,862      |            |
| 講費収入        | 687,500      | 865,000      | 講員5区分      |
| 受取利息        | 2            | 10           | 普通預金利息     |
| 雑収入         | 34,000       | 45,852       | 寄附金他       |
| 前期繰越        | 584,563      | 589,138      |            |
| 歳入計         | 1,306,065    | 1,500,000    |            |
| <b>(歳出)</b> |              |              |            |
| 講社費         | 666,927      | 1,105,000    |            |
| 事業費         | 431,704      | 450,000      | 神徳宣揚費 他    |
| 会議費         | 22,560       | 150,000      | 総会、理事会費    |
| 本部費         | 141,246      | 370,000      | 奉仕団諸費、通信費他 |
| 交通費         | 0            | 5,000        |            |
| 御神幸祭費       | 71,417       | 100,000      | 直会費 他      |
| 予備費         | 0            | 30,000       |            |
| 式年遷宮積立金支出   | 50,000       | 50,000       | 第63回神宮式年遷宮 |
| 次期繰越        | 589,138      | 345,000      |            |
| 歳出計         | 1,306,065    | 1,500,000    |            |

| 一般会計次期繰越金 |         | 積立金会計決算 |            | 遷宮積立金会計決算 |         |
|-----------|---------|---------|------------|-----------|---------|
| 区分        | 残高      | 区分      | 金額         | 区分        | 金額      |
| 現金        | 134,513 | 受取利息    | 1,059      | 前期繰越      | 300,009 |
| 郵便振替      | 238,164 | 前期繰越金   | 10,876,967 | 受取利息      | 2       |
| 普通預金      | 216,461 | 合計      | 10,878,026 | 繰入金収入     | 50,000  |
| 合計        | 589,138 |         |            | 合計        | 350,011 |

令和3年5月13日、川越悦生、中水明美両監事に監査を受けました。



上/椎浩紀氏(宮崎西高)による奉納揮毫(2月11日/紀元祭)  
下/浦安の舞奉奏(2月17日/祈年祭)

- 一月 一日 歳旦祭 夕御饌始祭 氏子青年会新春禊中止  
 二日 新春奉納揮毫作品展(五・三・二点) 於徴古館(十五日迄)  
 三日 大御饌祭 新春奉納芸能中止 流鏝馬稽古始  
 七日 元始祭 新春奉納芸能中止  
 十一日 昭和天皇祭遙拝  
 成人祭 元服式三月に延期  
 第四十九回新春奉納揮毫作品展表彰式 於社務所
- 二月 一日 宮崎空港ビル五所稲荷神社初午祭  
 二日 節分祭 追儺行事中止  
 十日 M.R.T五所稲荷神社初午祭  
 十一日 紀元祭 椎浩紀氏奉納揮毫 奉納日本剣道形中止  
 奉祝式典(日本会議主催) 奉祝四半の大会中止  
 第四十五回建国記念の日奉祝市民マラソン大会中止  
 祈年祭 御稻種頒種行事  
 十七日 撰末社祈年祭  
 十八日 天長祭併大太鼓奉納奉告祭  
 二十三日 ※(株)オリンピア(日南市)清水満雄・久美子氏奉納

## 祭典・奉納行事

- 二月 二十五日 撰社破魔矢祭(旧正月十四日) ※みあがりの儀縮小
  - 三月 三日 東日本大震災復興祈願祭 ※月次祭に併せて  
 十四日 元服式(烏帽子親 小山田敏氏・元服者七名)  
 二十日 春季皇霊祭遙拝 春分祭  
 二十三日 末社初午祭(旧初午)
  - 四月 二日 神事流鏝馬川原祓の儀 ※雨天のため行列中止  
 三日 神武天皇祭遙拝 神武天皇祭併神武養正講社大祭  
 神事流鏝馬 ※雨天のため本儀のみ中止  
 二十五日 東京五輪聖火安全祈願祭  
 二十九日 昭和祭
  - 五月 十四日 御衣祭(市呉服商有志協力 御衣司 宮下繁一郎氏)
  - 六月 二日 献茶祭(県茶商連合会協力 献茶司 黒木信吾氏)  
 五日 御田植祭 於御神田(田長 秦安廣氏)  
 三十日 古神符焼納祭 夏越大祓 茅の輪くぐり神事  
 毎月三日 月次祭(一・四月を除く) 毎月十五日 講社月次祭
- ※各祭典に併せてコロナウイルス鎮静祈願詞奏上  
 ※事由の記載なき各種中止行事はコロナ禍によるもの



大太鼓奉納者清水満雄・久美子氏夫妻に感謝状贈呈(2月23日)

### コロナ禍のまつり

予定してゐたすべての祭典を厳守裡に執り行ひましたが、例年多くの方々にご参列いただき紀元祭をはじめとして祈年祭等は、情勢に鑑み案内を縮小致しました。  
 また、神事流鏝馬は感染症対策を施した上で執り行ふ予定でしたが、生憎の天気により川原祓行列及び流鏝馬本儀は、やむなく中止となりました。

◆正式参拝・団体祈願◆

- 一月
  - 一日 宮崎神宮氏子青年会正式参拝
  - 一日 年頭参拝一六七社（一月三十日まで）
  - 二日 神事流鏑馬射手稽古始正式参拝
  - 八日 （公社）宮崎労働基準協会産業安全祈願祭
  - 二十日 テゲバジャール宮崎必勝祈願
  - 三十一日 読売ジャイアンツ必勝祈願
- 二月
  - 一日 全国共済農業協同組合連合会宮崎県本部目標達成祈願祭
  - 十六日 榑志多組安全祈願
  - 十六日 J A宮崎中央マンゴー部会マンゴー初出荷奉告祭
  - 十六日 （有）ケアセンター高野商売繁盛祈願
  - 二十五日 三共サービス榑安全祈願
- 三月
  - 一日 宮崎市消防団防火祈願祭
  - 九日 榑ANA総合研究所正式参拝
  - 十一日 大宮熱田神社宮司山田充春氏正式参拝
  - 十三日 宮崎日機装榑社運隆昌祈願
  - 二十二日 三桜電気工業榑安全祈願
  - 二十六日 宮崎交通榑宮崎観光県内モニターツアー正式参拝
  - 三十日 榑増田工務店安全祈願
  - 三十日 榑タイコー安全祈願
  - 三十日 榑日向屋安全祈願
  - 三十一日 榑九州建設サポート社運隆昌祈願
- 四月
  - 一日 榑テレビ宮崎安全祈願
  - 一日 テレビ宮崎商事榑安全祈願
  - 一日 宮崎太陽銀行安全祈願
  - 一日 榑九州エナジー安全祈願
  - 一日 宮崎電子機器榑安全祈願
  - 一日 榑システム開発安全祈願
  - 三日 大宮FC安全祈願
  - 五日 喜々津阿蘇神社宮司大島大明氏正式参拝
  - 八日 小林高等学校第四回卒業美女会米寿祈願
  - 九日 榑リクリア安全祈願

◆令和三年初詣～新たな様式変はらぬ心で～◆

- 四月
  - 九日 宮崎交通榑宮崎観光県内モニターツアー正式参拝
  - 十三日 宮崎神宮敬神婦人会正式参拝
  - 十四日 宮崎商工会議所青年部安全祈願
  - 十九日 宮崎県神社庁宮崎市支部正式参拝
  - 十九日 レヴィアス榑安全祈願
  - 二十日 昭和コンクリート工業榑宮崎営業所安全祈願
  - 二十一日 宮崎県神道青年会正式参拝
  - 二十六日 江坂設備工業榑安全祈願
  - 二十七日 榑宮崎オノデン社運隆昌祈願
  - 二十七日 樋口産商榑社運隆昌祈願
  - 二十九日 C B 3 6 会還暦祈願
- 五月
  - 十日 宮交グループ創立記念奉告祭
  - 十三日 榑鈴花都城店コロナウイルス終息健康祈願
  - 十八日 榑青叡舎学院業務隆昌祈願
  - 二十五日 榑フカベエッグ社運隆昌祈願
  - 三十日 宮崎神宮宮童正式参拝～委嘱式

本年の初詣は、全国の多くの神社にてコロナウイルス感染症拡大防止のため、正月三ヶ日に限らず分散での参拝が推奨されました。当宮においても、正月事始めの日にあたる令和二年十二月十三日に宮崎日日新聞紙面に広告掲載、また年末より破魔矢、熊手、干支の置物等の縁起物の授与をはじめました。

御陰をもちまして、参拝者数は十二月は増加、正月三ヶ日は一四三〇〇〇人（前年比一二〇、〇〇〇人減）となり、密を避けることができました。しかしながら、コロナ禍にあつて外出を自粛する昨今の情勢により、相対的な初詣数や厄祓等の祈願は減少となりました。

かかる中であつて、当宮と致しましては今一度、古き良き習慣である一年の節目の正月、また人生の節目の厄年等における神詣の意義の教化に努めたく存じます。有難い日常が戻り、皆様方に変はらぬ心でお参りいただき、社頭賑はふ年の始めとしたいものです。

# ” 献詠短歌 ”

「宮崎神宮献詠短歌会」は、昭和十六年三月に発足しました。爾来八十年の長きに亘り、三十一文字に思ひを込めて献歌してきました。

## ■令和二年被表彰者

成績優秀者に対し、選者より推薦を受けて表彰を行いました。

宮崎神宮賞 黒木 和子  
選者 賞 桑原 淑子

## ■献詠募集 選者 堀家博子

ハガキに楷書で丁寧な一首と氏名、住所、電話番号を明記の上、宮崎神宮までお送りください。  
※令和三年兼題

七月 藍 八月 渚  
九月 絵 十月 秋桜  
十一月 石路 十二月 街  
※毎月五日締切

※選考結果は毎月末に応募者宛にお送り致します。

## ■問い合わせ先

宮崎神宮献詠短歌会事務局  
電話〇九八五（二七）四〇〇四  
担当 須田 出光 松元

## ■令和二年十二月 兼題「帰」

天

定刻の父の帰宅にあつあつの  
飢肥天揚げて母は待ちぬき

宮崎市 桑原 淑子

地

拉致されし同胞いまだふるさとに  
帰り来ずしてこの冬も逝く

宮崎市 黒木 和子

人

帰り急ぐ孫の車を止めながら  
掘りたての大根数本もたず

宮崎市 小松 京子

秀逸

電灯の笠を掃除し障子を貼り  
嫁帰りゆくまた来ますねと

宮崎市 小池 洋子

夕陽受け時に帰る鳥の群れ  
時折り聞こゆ鳴き声淋し

宮崎市 松久 寅雄

佳作

三年半のソ連抑留より帰りし兄  
迎へし母の涙忘れず

延岡市 喜多 昭子

帰郷して日向ことばに戻りしと  
東北なまりの友は笑顔に

日南市 黒岩 昭彦

玄関を開くるや否やお帰りの  
息子の声に笑みのこぼるる

宮崎市 出光 弘忠

選者詠

年の瀬に幼らを連れ帰る日を  
直に待ちぬし父の面影

## ■令和三年一月 兼題「便」

天

学生時の現金封筒うれしかりき  
便箋一枚の父の便りは

宮崎市 鐘ヶ江和貴

地

コロナ禍と疎遠を侘びて届きしは  
共に老いたる友よりのメール

西都市 加藤 健二

人

川の面にたゆたふ鴨ら描きそへて  
帰れざる子にふるさと便り

宮崎市 黒木和貴子

秀逸

一人居の我を気づかう孫娘  
今宵も声の便りが届く

宮崎市 和田 洋子

正月を帰れぬ孫よりコロナ禍に  
負けず暮らせと励ます便り

西都市 渡邊 経子

佳作

久びさの宅急便は三股よりの  
竹皮に包める友のあくまき

宮崎市 小松 京子

大空に舞い上がりゆく羽田便  
帰れぬ故郷への想いを託す

宮崎市 永吉 寛行

初春の賀状の便りに小さき字で  
お元気ですかの添書きうれし

宮崎市 黒木ふさを

選者詠

捨てがたき学生時代の父母の  
便りインクの色の手紙で残れり

## ■令和三年二月 兼題「椿」

天

あかつきの椿岬に夫と立ち  
日の出待ちにき遥かなりし日

宮崎市 黒木和貴子

地

ビル蔭になりたる庭の白椿  
夫植えて三十年を清すがと咲く

宮崎市 徳永さち子

人

たつぷりと椿油のしみこみし  
祖母のつけ櫛あめ色に照る

船橋市 森中 香織

秀逸

今年も乙女椿に逢ひたしと  
友と巡りぬ久留米つばき園を

宮崎市 友枝 清子

落ちてくる紅の椿みつめつつ  
亡夫と植ゑたる遠き日想ふ

宮崎市 小松 京子

佳作

里山より取り来し椿この冬も  
独りの庭にひそと咲きたり

宮崎市 小池 洋子

藪椿の厚き葉裏に白き蛾は  
寒波を耐ふるや身じろぎもせず

熊本市 松山 浩一

在りし日に父の手植えし寒椿  
今も残りぬ父のぬくもり

宮崎市 桑原 淑子

選者詠

めぐりには椿植ゑむと梅雨の頃  
夫は挿し木を試みてぬき

■令和三年三月 兼題「友」

天

友禪の絵付師になる夢捨てきれず  
桜葉ふる京に降り立つ

宮崎市 桑原 淑子

地

肩寄せあひ月光ソナタ聴きし友  
逝きてしまへり春の雨降る

宮崎市 黒木和貴子

人

病みつつもふるさと宮崎に版画展  
開きし友の春待たず逝く

宮崎市 徳永さち子

秀逸

再会を約し別れしあの友の  
卦報の便り今朝のポストに

南九州市 赤坂よし子

真剣に友らと学び語り合ひし  
合宿の日々今も支へに

宮崎市 黒木 和子

佳作

わが庭に二本の松を植えくれし  
亡夫の友も逝きて七年

宮崎市 小松 京子

水害で荒れし田圃に真向かいて  
友は宮農の熱き意志語る

熊本市 松山 浩一

定めとは悟りしもの悲しかり  
婦らぬ友の年毎に増ゆ

宮崎市 松久 寅雄

選者詠

学友に主婦友老いては歌の友  
わが過ぎゆきのしあはせ思ふ

■令和三年四月 兼題「董」

天

春浅き野に愛らしき野董を  
避けつつ母と野芹摘みにき

宮崎市 鐘ヶ江和貴

地

スマイル咲く畔にあがりて早乙女は  
汗ぬぐひたり菅笠とりて

日南市 黒岩 昭彦

人

赤人のすみれ摘みにと詠みし歌  
口ずさみつつ春の野をゆく

宮崎市 黒木 和子

秀逸

おそろひの董の色の頬紅を  
さして舞ひたる悠久の舞

綾町 松元 由茉

日だまりの茅野にめでしスマイレ草  
今も咲くらむ夫のしのばる

宮崎市 小池 洋子

佳作

「パパ見て」と吾子が差し出すその手には  
すみれの花のにぎられてをり

宮崎市 出光 弘忠

今少し朝露のこる畦径を  
萌ゆる董に声かけ歩く

西都市 渡邊 経子

選者詠

放課後の木陰に集ひ歌ひしか  
宝塚歌劇の「董の花咲く頃」



■令和三年五月 兼題「空」

天

迎え火を焚き終へしとき西空を  
飛行機雲がながくのびゆく

宮崎市 小松 京子

地

つばくらめ飛び来し空を仰ぎつつ  
幼なと歩む桜咲く午後

倉敷市 萩原 節子

人

開通せし新小戸之橋密をさけ  
渡り初めする雨空の下

宮崎市 黒木和貴子

秀逸

一片の雲なき四月の青空へ  
昇り逝きたりけむりの父は

宮崎市 鐘ヶ江和貴

ぼつかりとイエロームーンの満月が  
西空低く今しずまんとす

宮崎市 右松多恵子

佳作

朝なさなお経唱へし母の声  
空寝をしつつ聞きしかの日々

宮崎市 黒木 和子

白球を追ひて夏空グラウンドに  
若きらの声響き渡れり

宮崎市 出光 弘忠

家並みのはざまの空の茜色  
今朝の歩みは坂の上まで

宮崎市 小池 洋子

選者詠

夕餉終へ南の空に蠅座を  
子らと探ししも遠くなりなき

◆氏子青年会新会長就任

横山雄一郎  
宮崎神宮氏子青年会会長を委嘱  
します

自 令和三年四月 一日  
至 令和五年三月三十一日  
(令和三年四月一日)

宮崎神宮氏子青年会会長

横山雄一郎

神社規則第十六条の規定に従って  
本神社の総代を委嘱します。

(令和三年四月一日)

◆職員動向

令和三年一月から  
令和三年六月まで

【本庁辞令】

宮崎神宮権禰宜 石塚 和也  
宮崎神宮禰宜に任ずる  
(令和三年四月一日)

【社内辞令】

巫女 猪俣 采夏  
巫女 福留明日香  
願に依りその職を免ずる  
(令和三年三月三十一日)

篠原 鈴菜  
河野杏実果  
巫女見習を命ずる  
(令和三年四月一日)

篠原 鈴菜  
河野杏実果  
巫女見習 篠原 鈴菜  
巫女見習 河野杏実果  
巫女を命ずる  
祭儀課勤務を命ずる  
(令和三年五月一日)

# 神社本廳設立七十五年

昭和二十一年二月三日設立

## 神社本廳設立に關する聲明決議

今次神社は聯合軍司令部の指令に基き、其の國家宗祀たるの制度は全廢せられ、新に宗教法人令により發足する事となれり。之が對策は吾等の慎重考究を要するところたと同時に、國民の重大關心事なり。抑々神社尊崇の眞義は惟神の大道に遵ひ人倫の道を明徴にし、神恩に報謝し祖宗の神徳を奉體して、淳厚且つ忠誠なる我が大和民族の精神氣風を作興し、以て世界人類の福祉と平和とに寄與せんとする傳統的信仰を顯現昂揚するに在り。従つて神社に關する制度並に施設の如何は皆に我等國民の日常生活に甚大なる影響を及ぼすのみならず、道義日本の國際的地位を確立する上に於ても、絶大なる關係を有するものなることは、これ敢て言を俟たざるところなり。吾等神社人は深く慮るところあり、世界の趨勢と其の將來とに鑑み、茲に全國神社の總意に基き本宗と仰ぐ皇大神宮の許に、全國神社を含む新團體を結成し、協力一致神社本来の使命達成に邁進し、以て新日本の建設に寄與せんことを期す。

右聲明す

昭和二十一年一月二十三日

稽古照今 けいこせうこん

昭和二十年十二月十五日、「神道指令」によつて神社神道は國家管理を離れました。

神祇院廢止、大日本神祇會解散  
当日の当宮社務日誌には、次のやうにあります。

制度上神社ナク、神職ナシ

この一文から、國家、國民の精神的支柱、結合の紐帯であつた神社、さらには大神様の御心に添ふべく、ひたすら神明奉仕に勤しんできた己を否定された得も言へぬ虚無感が伝つたのであります。

かくて、終戦後のあはただしい中に、神社本廳は十万余の神社が一丸となり設立されました。爾來、苦難の歴史を新生へのよき刺激とし、この試練によつて一本立ちの道を築き上げて來ました。

設立七十五年の節目、またコロナ禍により様々な変革が求められる中であつて、原点に立ち返り、協力一致、神社本来の使命達成に邁進せんことを願つてやみません。

神武

Vol.157